

家づくりをきっかけに『体と心がよくこぶ暮らし』を考える建設・不動産会社です

社長のひとりごと

先日は妻と久しぶりに歌舞伎をみてきました。ここ数年、コロナ禍で全くいけておらず、久しぶりに団十郎（旧海老蔵）のチケットが取れたんです！僕は歌舞伎のチケットを取るときは、妻のためという一心で「花道」の上手側を奪取するのですが、今回はあっというまに埋まってしまい、遙か後ろの席に・・・。「こんな後ろの席に・・・どうか！どうかお目こぼしを！」という僕に妻は「うむ しかたなかろう」と許してくれました。（ホッ）当日は猿え助事件の代役に中車（香川照え）が出るという復活戦！中車の演技の前評判も上々！色々ありましたが演者としては一流！その演技をまた見たーい！当日はあまりに楽しみすぎて妻と手を繋いでスキップで出かけました。（ウソ）ところがなんと！中車の演目は午前の部、僕たちの午後の部には出ない・・・でも団十郎とその子供たちが出演し大いに盛り上がりました。

カミサンは団十郎とその子供たちの大ファンなので終始ご機嫌でした（ホッ）帰りの電車で「また行きたいね～」という「行きたい！」と即答。3年以上も大好きな歌舞伎を見ることができず、久しぶりに観ることが出来て僕らは大満足でした。チケットはお高いですし、取得も高難易度ですが、妻のひとときの笑顔の為に、また頑張ろうと恐妻家の僕は強く誓うのでした（笑）



駿河屋
九代目 当主
一桒

駿河屋
SURUGAYA SINCE 1657

自然派コミュニティー
つちからの会

作業開始！秋野菜の種まき・苗付に行ってきました(^-^)
今年は、ダイコン、カブ、ブロッコリーです！
収穫は11月ごろを予定ですよ♪



大根とカブは種から育てます



駿河屋は建築の会社ですが、自らも創り手となり体感し、より深く理解するために野菜やお米づくりも行っています。野菜やお米を自らの手で関わり汗を流す。自分たちが生産者になることでより生産者や受け取ることへの「感謝」や「ありがとう」を感じることが豊かな暮らしに繋がるということをもっと学ぶために野菜づくりやお米づくりを行っています。



現場から！

オフィスで使いづらくなったトイレやキッチンを新しく改修するご依頼を頂きました。

働くスタッフの皆さんが仕事をしやすい環境づくり、とても大切ですね。人員増員、設備の劣化、オフィス内の動線が使いづらいなどを考え始めたらオフィスもリフォームの時期かもしれません。

手洗いリフォーム



社員のモチベーションもアップ!!
オフィス、店舗改修なども
ご相談ください!

キッチンリフォーム



トイレリフォーム



お気軽に
お問合せください



駿河屋も デジタル時代の到来！

昨今は書類のペーパーレスやスマホでの決済などデジタル化が進んでいますね。若い世代は、当たり前のように使いこなしていますが、昭和生まれには時代の変化に追いつくのが大変です・・・



360度カメラで撮影しVR空間化した現場の状況をご覧いただけます。

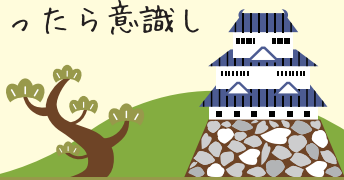


駿河屋でも、現場のチェックや職人さんとのやりとりなどデジタル化がすすんでいます。新しく現場の進捗状況を施主様にお伝えするサービスを開始しています！自宅にいながら工事の進捗状況を確認いただけるサービスです(^^)

ちょこっと雑学

お城に松の木が多い理由ってありますか？景観や風よけ以外に、実は籠城時に食用として役立てていたそうです。松葉は葉緑素、ビタミン、ミネラルが含まれ、生皮を麦粉や米粉に混ぜて餅をつくったりしていたそうですよ。

秋は旅行のシーズンですね、お城観光へ行くことがあったら意識して見てみて下さいね。



住まいづくり事業部
事業統括課 雪村

家づくりをきっかけに「体と心がよくこぶ暮らし」を考える

注文住宅 リフォーム 不動産
創業1657年 株式会社

駿河屋

いーにほん おーがにつく

0120-124-029

〒131-0033 東京都墨田区向島1-24-16 1階
https://www.surugaya-life.jp info3@surugaya-life.jp





不動産のことならお任せください！💡

覚えておきたい
不動産マメ知識

二世帯住宅の见えないメリット



皆さんは家づくり検討しながら二世帯住宅を視野にいらいますか？実は見えない大きなメリットがあります。

二世帯住宅には高熱費が共有できたり、設備が共有できたり、子育てや介護で安心できたりと様々なメリットがあります。それ以外にもお金では買えない財産があります。祖父母世代は、昔からの日本の知恵や哲学を継承しています。たとえば、「物には命がある」「物は大切にしない」「もったいない」などです。使い捨て社会になって久しいですが、「ものを大切に長く使う」という考え方は子供たちにも受け継いでもらいたいものですよね。



昔は反物で着物をつくり次に羽織りにしてその先は子供のおむつになったり、最後は雑巾や灰にまでして使い切っていました。祖父母世代は子育て世代が子供に残したい日本の知恵やしつけを継承できるお金では買えない財産を残せるのです。

昔は三世代家族で住むのが当たり前の世の中でした。家には神棚や仏壇があり毎朝、お供えをして手を合わせていました。祖父母からは家族のルーツを聞かされ「またその話し？」という事も沢



山ありました。でもそうした話しは私達の耳に残り、確実に受け継がれていく。そして「自分は何者なのか」という自分自身のルーツを知り子供自身のアイデンティティーを育むことにとっても重要に関わってくるのです。こうしたお金のメリットだけでなく祖父母世代からの大切な知恵や日本人のこころ。アイデンティティーなど子供に受け継ぐお金以外の大切なことが沢山あります。皆さんも家づくりを考えたら二世帯住宅という選択肢も考えてみてはいかがでしょうか。

駿河屋九代目当主 一樹

先着4組様限定

10月28日(土)

10:00~12:00

厳選素材 セミナー



お申し込みは
QRコードから
またはお電話で



住宅素材の
メリット・デメリットが
よく解る



自宅に自然素材を取り入れたい、自然素材に興味がある、持ち始めたというお客様を対象にして、素材を学ぶセミナーを開催いたします！

自然素材の良さや一般建材の便利さなど実験をしながらメリット・デメリットを学び自分たちに合った素材の選び方、コストを上手に抑えた家づくりについてご説明します。また、自然素材のお手入れに関する疑問に対しても、適切にご説明させて頂きます。

会場となる駿河屋のモデルルームは自然素材を使用していますので実際に住まいづくりに取り入れた場合のイメージもしやすいです(^o^)

地球にやさしくエコ素材で

～DIYエコフェスタ～開催

自由参加

※予約も可



端材の配布

当日はご自由にお持ちいただける端材をご用意しています



11月19日

日曜日

10:00～14:00

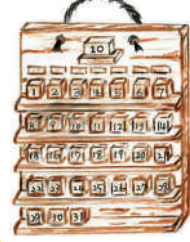
エコフェスタを開催いたします。
資源を使い切るの観点から工事で余った木材を使用した「ウッドカレンダー」をつくるワークショップや端材の配布、在庫の販売、丸太切り大会などをおこないます。

6月と10月に開催した『田んぼ学校』に参加された方は収穫米のお返しも予定しています。



どなたでもご参加いただけますので
お誘い合わせの上ご参加ください！
小さなお子さんも大歓迎です！！

木のカレンダー



※イメージです

端材

無垢のフローリングを
組み立ててつくるウッドカレンダー

サイズ(予定)
縦400 横250

先着10名
参加費1,500円

丸太切り大会

切った丸太の輪切りはお持ち帰りいただけます。入賞者には景品付き！



※イベントについては11月号でも詳しくお知らせします！

最新のイベント情報はWebからどうぞ！



新月の木伐採ツアー2023

当社でもフローリングなどで使用している新月伐採・葉枯らし天然乾燥の生産地、天竜での伐採体験ツアーです。

普段の生活では体験できない伐採体験と、製材所の見学、そして生産者の方々とのおふれあい、美味しい山の幸を堪能できる、大人気のイベントです。

小さいお子さんの参加も大歓迎！！貴重な体験になりますよ♪
大自然の中で木の命を体感しましょう！

※伐採体験はノコギリを使用しておこないます

※小雨は決行。伐採ができない天候の場合は工場での見学と木にふれる体験をおこないます。



【日程】2023年11月4日(土)

【時間】9:30(受付)～16:00頃

【会場】天竜T.S.ドライシステム

//静岡県浜松市天竜区水窪町奥領家3818-11

※現地集合・現地解散となります

※お申し込みは詳細は
Webページ・お電話で



【参加費】お一人様 1,500円(お弁当・保険料込み) ※完全予約制

【持ち物】飲み物・滑りにくい靴・汚れても良い防寒着・軍手等

※お申し込みは10/19まで。定員に達し次第終了となります。

スケジュール

9:30 受付開始
10:00 出発
10:30 伐採体験
12:30 昼食
14:00 工場見学
16:00 解散

家づくりをきっかけに「体と心がよごさず暮らし」を考える

注文住宅 リフォーム 不動産

創業1657年 株式会社 駿河屋

いーにほん おーがにつく



0120-124-029

〒131-0033 東京都墨田区向島1-24-16-1階
https://www.surugaya-life.jp info3@surugaya-life.jp



駿河屋
メルマガ
「厳選素材
住宅論」

